

京都大学大学院医学研究科規程

第1 専攻

第1条 本研究科の専攻は、次に掲げるとおりとする。

医学専攻

医科学専攻

社会健康医学系専攻

人間健康科学系専攻

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻

2 前項の専攻は、博士課程とする。ただし、社会健康医学系専攻の前期2年の課程は、専門職学位課程とする。

第1条の2 京都大学通則（以下「通則」という。）第53条の2第3項ただし書の規定による標準修業年限は、1年とする。

2 前項の規定は、医学研究科会議（以下「研究科会議」という。）が定める資格又は要件を具備する者について、研究科会議が定める教育課程を履修する場合に適用する。

第2 入学

第2条 入学手続及び入学者選抜方法は、研究科会議で定める。

2 通則第36条の2第1項ただし書及び第2項の規定による入学に関する事項は、研究科会議で定める。

第3条 入学候補者の決定は、研究科会議で行う。

第2の2 長期履修

第3条の2 人間健康科学系専攻の博士後期課程において、通則第36条第8項の規定により標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

第3 転学、転科及び転専攻

第4条 通則第40条第1項の規定により本研究科に転学又は転科を志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

2 本研究科学生で、転専攻を志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

第4 授業、研究指導及び学修方法

第5条 科目、その単位数、授業時間数及び研究指導に関する事項は、研究科会議で定める。

2 前項の学修に関する事項は、学事要項を作成して、学生に周知させるものとする。

第6条 各学生の指導教員は、研究科会議で定める。

2 学生は、学修につき、指導教員の指導を受けなければならない。

第7条 学生は、毎学年の初めに学修する科目を定め、医学研究科長の承認を受けなければならない。

第8条 通則第44条第1項又は第53条の7第1項の規定により他の研究科等の科目を学修し、又は他の研究科において研究指導を受けようとする者は、指導教員の承認を得て、所定の期日までに医学研究科長に願出しなければならない。

2 他の研究科等の科目の学修及び他の研究科において受ける研究指導については、当該研究科等の定めるところによる。

第9条 通則第45条第1項、第2項若しくは第4項又は第53条の8第1項から第3項までの規定により他の大学の大学院の科目を学修し、又は外国の大学の大学院に留学し、その科目を学修しようとする者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

2 通則第46条第1項の規定により他の大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け、又は休学することなく外国の大学の大学院若しくは研究所等に留学し、研究指導を受けようとする者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

3 前2項の規定による許可の願出については、前条第1項の規定を準用する。

第10条 次の各号に掲げる科目、単位数、研究指導及び在学年数は、研究科会議の議を経て、それぞれ修士課程、博士後期課程、博士課程又は専門職学位課程の修了に必要な科目、単位数、研究指導又は在学年数として認定することができる。

(1) 転学、転科又は転専攻前に、本学又は他の大学の大学院で学修した科目、単位数、受けた研究指導及び在学年

数の一部又は全部

(2) 第8条第1項の規定により学修した科目、単位数及び受けた研究指導の一部又は全部

(3) 前条第1項又は第2項の規定により学修した科目、単位数及び受けた研究指導の一部又は全部

(4) 通則第46条の2第1項又は第53条の9第1項の規定により本研究科に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位数（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条において準用する大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。）の一部又は全部

2 前項第4号の規定により本研究科（専門職学位課程に限る。）に入学する前に大学院において履修した単位数を専門職学位課程の修了に必要な単位数として認定するときは、通則第53条の13の規定により、研究科会議の議を経て、1年を超えない範囲で専門職学位課程に在学したものとみなすことがある。

第5 試験

第11条 科目の試験の期日及び方法は、研究科会議で定める。

第6 論文等の審査、課程修了の認定等

第12条 修士論文及び博士論文の審査及び試験は、京都大学学位規程の定めるところにより、研究科会議で行う。

第12条の2 通則第53条の12第1項の規定により専門職学位課程の修了の要件として定める教育課程の履修は、専攻科目につき30単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究の成果を認定されることとする。

2 前項の特定の課題についての研究の成果の審査及び試験は、研究科会議で行う。

第13条 修士課程、博士後期課程、博士課程及び専門職学位課程修了の認定は、研究科会議で行う。

第14条 通則第57条の規定により学位の授与を申請した者の学識の確認は、専攻学術に関する試問のほか、外国語1か国語の試問を課する。

2 前項の規定による試問は、筆答及び口頭により行う。ただし、研究科会議の議を経て、他の方法によることができる。

3 第1項に規定する者に係る提出論文の審査及び試験は、博士後期課程及び博士課程における論文の審査及び試験と同一の手続による。

第15条 本研究科の博士後期課程に所定の年限在学し、必要な研究指導を受けて退学した者又は本研究科の博士課程に所定の年限在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けて退学した者が、通則第57条の規定により学位の授与を申請したときは、研究科会議の議を経て、前条第1項に規定する学識確認のための試問を免除することができる。

第7 外国学生、委託生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、特別研究学生及び特別交流学生

第16条 外国学生、委託生、科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者には、選考のうえ、研究科会議の議を経て、許可することがある。

2 通則第63条第1項の規定による特別聴講学生、同条第2項の規定による特別研究学生又は同条第3項の規定による特別交流学生として入学を志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

附 則 [中間の改正規程の附則は、省略した。]

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

◆社会健康医学系専攻について

(<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/>)

1. 本専攻の概要

社会健康医学系専攻の使命は、医学・医療と社会・環境とのインターフェースを機軸とし以下の活動とその相互作用を通じて、人々の健康と福祉を向上させることである。

○教育 (Teaching)

社会健康医学に関わる実務、政策、研究、教育において専門的かつ指導的役割を身につける幅広い教育を行う。

○研究 (Research)

人々の健康に関わる経済、環境、行動、社会的要因についての知識を深め、新しい知識と技術を生み出す。

○成果の還元 (Translating Research into Practice and Policy)

その成果を健康・医療に関わる現実社会の実践方策と政策に還元する。

○専門的貢献 (Professional Practice)

専門の知識と技術を持って、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献する。

健康に関する問題は非常に広い範囲にわたっており、本専攻の教員、学生のテーマや専門性も多岐に渡っている。本専攻には、定量的評価に不可欠な疫学、統計に関する基礎領域から、ゲノム情報と健康のかかわり、医療の質の評価や経済的評価、倫理的側面、社会への健康情報の発信、健康増進と行動変容、健康の社会的決定要因、健康格差、グローバルヘルス、感染症など危機管理に関する研究や気候変動など環境要因と健康に関する研究、ヘルスコミュニケーションや質的研究など、さまざまな教育・研究を推進する分野が設置されている。

2. 教育課程

本専攻は、専門職学位課程（実務者レベル）2年と博士後期課程（研究者、教育者レベル）3年に区分され、専門職学位課程は、さらに、基幹課程である2年制 MPH コースをはじめ、1年制 MPH コース、臨床研究者養成（MCR）コース（1年制）、遺伝カウンセラーコース（2年制）、臨床統計家育成コース（2年制）を含めて5コースに分かれている。

教育内容として、下記のコア6領域が定められており、これらの領域を構成する科目を、必修（コア領域1、2）、選択必修（コア領域3、4、5、6）と指定している。いずれのコースでも2025年度入学者より6領域から最低1科目（コア領域1は2科目）の履修を必要とする。

区分		科目コード	科目名	責任者	単位	備考
MPH コア 6領域	コア領域1	H118000	疫学Ⅰ（疫学入門）	中山	1	必修
		H119000	疫学Ⅱ（研究デザイン）	山本	1	必修
	コア領域2	H174000	医療データ科学	松井	2	必修
	コア領域3	H070000	感染症疫学	西浦	1	
		H124000	産業・環境衛生学	西浦	1	
	コア領域4	H166000	医療制度・政策・経済	今中	2	
		H126000	保健・医療の経済評価	今中	1	MCR コース 受講不可
		H127000	社会健康医学と健康政策	健康政策の 運営委員会	2	
		H109000	医薬政策・行政	川上	1	後期
	コア領域5	H075000	行動科学	田近	1	
		H076000	基礎医療倫理学	井上	1	
		H077000	医学コミュニケーション基礎	岩隈	1	
		H157000	社会疫学	近藤	2	
	コア領域6	H161000	感染症数理モデル入門	西浦	2	集中講義
		H170M01	健康危機管理の制度政策と実践	今中	1	
		H169000	公衆衛生の緊急事態におけるリス クコミュニケーション	中山	1	集中講義
H173M01		レジリエントな社会づくりのイノ ベーション：展望・自由提言	今中	2		

		H172000	健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	今中	1	集中講義
--	--	---------	--------------------------	----	---	------

※前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表) 科目変更対応表」を確認すること。

◎人間健康科学系専攻科目の一部の科目、「政策のための科学」プログラムの授業科目を社会健康医学系専攻の学生が受講することを認めています。ただし、修了に必要な単位とはなりません。
詳細は、KULASIS でシラバスをご参照ください。

◎以下の公共政策大学院科目を社会健康医学系専攻の学生が受講することを認めています。ただし、修了に必要な単位とはなりません。
詳細は、KULASIS でシラバスをご参照ください。

- ・ 公共政策論 A・B
- ・ 行政システム
- ・ 財政システム
- ・ CS 予算と政策分析

(1) 専門職学位課程

専門職学位課程に2年以上(2年制コース)もしくは1年以上(1年制コース)在学し、下記の30単位以上を修得し、本専攻が定める教育課程を修了することが「社会健康医学修士(専門職)」取得の要件である。

なお、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則42単位とする。ただし、特別コース・特別プログラム(1年制 MPH コース、臨床研究者養成(MCR)コース、遺伝カウンセラーコース、臨床統計家育成コース、知的財産経営学プログラム)の履修者が、特別コース・特別プログラムにおける必修科目等を履修する場合は超過を認める。その他、やむを得ない事情により履修登録上限単位数を緩和する必要がある場合には、指導教員の申し出により超過を認めることがある。

[2年制MPHコース]

【2024年度以前入学者】

科目	「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者
MPH コア5領域(コア領域1-5のすべての領域を含む) (注1)	10	10
MPH 必修(医学基礎I(注3)・II、臨床医学概論) (注2)	—	6
課題研究	4	4
選択(特別プログラムで指定されるものを含む)	16	10
計	30	30

【2025年度以降入学者】

科目	「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者
MPH コア6領域(コア領域1-6のすべての領域を含む) (注1)	10	10
MPH 必修(医学基礎I(注3)・II、臨床医学概論) (注2)	—	6
課題研究	4	4
選択(特別プログラムで指定されるものを含む)	16	10
計	30	30

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定で認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) MPH コア科目を10単位を超えて取得した場合は、選択科目として算入する。

(注2) MPH 必修を、「医療系」出身者の学生が取得した場合、学位取得に必要な 30 単位に算入することはできない。

(注3) 「医学基礎 I」として、「医学基礎 I (生理学 I)」「医学基礎 I (神経生理学)」「医学基礎 I (解剖学)」あるいは「医学基礎 I (基礎人類遺伝学)」のいずれか履修すること。

課題研究：専門職学位課程共通。テーマ毎に、最も適切な研究室に配属し、研究アイデアから研究プロトコルの作成、データ収集と解析、結果の考察などを経験し、プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションを行う者は、プレゼンテーションを行う当該年度に修了見込みの者に限られる。

既修得単位の認定：本専攻では上記コア領域科目の受講を推奨しているが、他大学院における取得単位について、コア領域 1～6 に相当する科目を対象に最大 10 単位以内を既修得単位として認定する場合がある。認定を希望する場合は、入学時に申請が必要である。

[特別コース・特別プログラム]

本専攻は、下記の特別コースを有する。これらの特別コースは入試枠が異なり、入学後にコース間の移動はできない。加えて、下記の如く、本専攻が修了を認める特別プログラムがある。これらの詳細は、別途、「◇特別コース及び特別プログラムについて」に後述する。

<特別コース（専門職学位課程）>

- 1) 1 年制 MPH コース（1 年で修了しうるが、修了要件は上記の 2 年制 MPH コースと同じ。）
- 2) 臨床研究者養成 (MCR) コース
- 3) 遺伝カウンセラーコース
- 4) 臨床統計家育成コース

<特別プログラム>

- 1) 知的財産経営学プログラム（専門職学位課程対象）
- 2) 医療経営ヤングリーダー・プログラム（専門職学位課程対象）
- 3) 健康危機管理基盤プログラム（修士課程・専門職学位課程・博士（後期）課程対象）
- 4) 医療技術評価（HTA）教育プログラム（社会健康医学系専攻の博士後期課程・医学専攻の博士課程対象）

(2) MPH-DrPH 課程について

出願資格：1) 修士相当の学位を有する者 あるいは、2) 医師・歯科医師の内、2 年以上の臨床経験あるいは卒後臨床研修を修了した者。

上記出願資格 1)、2) の条件を満たし、専門職学位課程に引き続き本専攻博士後期課程に進学を希望する者で、学部あるいは修士の履修成績、入学試験および専門職学位課程入学後の成績も優秀であり、意欲と能力のある者は、審査を受け、本専攻博士後期課程の受験資格を認定された場合、専門職学位課程の修了要件を満し、かつ上記の博士後期課程入学試験に合格することにより、1 年次修了時点で博士後期課程に進学できる。

受験資格の認定を希望する者は、前期にコア科目 8 単位以上を取得（見込）したうえで、MPH-DrPH 課程の願書、志望理由書、指導教員の推薦書(注)と、修士相当の者は、1) 修士学位の証明と修士および学部の成績、あるいは医師・歯科医師の者は、2) 臨床経験あるいは卒後臨床研修と在職証明書を添えて 8 月 1 日(金)までに教務課大学院教務掛に提出すること（認定を希望する者は、提出に先立ち、教務課大学院教務掛に事前に相談すること）。

本課程は、あくまで、博士後期課程への進学を前提としたものであり、進学しない場合は、1 年次修了は無効となる。

(注) 課題研究に関する情報(課題名、プロトコール、進捗状況を示す資料等)は必須ではないが、推薦書に添付することができる。

(3) 博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、研究指導を受け、下記の所定単位を修得し、「医科学研究入門Ⅰ、Ⅱ」を履修のうえ合格し、博士論文の審査および試験に合格することが「博士（社会健康医学）」取得の要件である。なお、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則42単位とする。

2022年度入学者より、大学院教育コース「社会健康医学・臨床疫学研究」において学位論文の中間ヒアリングとチューターシステムを導入することによって、大学院生の研究進捗状況をチェックし、必要に応じてアドバイスを与えることによって研究レベルの向上をサポートする体制を強化する。2年次あるいは3年次に中間ヒアリングにおいてチューターが研究進捗状況をチェックし、適切な研究方針で研究しているか、順調に研究が進展しているかなどを確認・審査する。中間ヒアリングに合格することが「実習」2単位の修得要件となる。

【2021年度以前入学者】科目		本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者
		「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者	
博士課程セミナー		6	6	6
専門職学位課程 授業科目	MPHコア5領域 (コア領域1-5のすべての領域を含む)	7 (領域1と領域2は、 それぞれ2単位)	7 (領域1と領域2は、 それぞれ2単位)	—
	MPH必修 (医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論)	—	6	—
計		13	19	6

【2022-2024年度入学者】科目		本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者
		「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者	
博士課程セミナー		6	6	6
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（演習）（1年次～）		4	4	4
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（実習）（2年次～）		2	2	2
専門職学位課程 授業科目	MPHコア5領域 (コア領域1-5のすべての領域を含む)	7 (領域1と領域2は、 それぞれ2単位)	7 (領域1と領域2は、 それぞれ2単位)	—
	MPH必修 (医学基礎Ⅰ(注1)、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論)	—	6	—
計		19	25	12

【2025年度以降入学者】科目		本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者
		「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者	
博士課程セミナー		6	6	6
大学院教育コース：医科学研究入門Ⅰ		必修科目（単位付与なし）		
大学院教育コース：医科学研究入門Ⅱ ※2026年度開講予定				
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（演習）（1年次～）		4	4	4
大学院教育コース：社会健康医学・臨床疫学研究（実習）（2年次～）		2	2	2

専門職学位課程 授業科目	MPH コア6領域 (コア領域1-6のす べての領域を含む)	8 (領域1と領域2は、 それぞれ2単位)	8 (領域1と領域2は、 それぞれ2単位)	—
	MPH 必修 (医学基礎Ⅰ(注1)、医 学基礎Ⅱ、臨床医学概 論)	—	6	—
計		20	26	12

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) 「医学基礎Ⅰ」として、「医学基礎Ⅰ(生理学Ⅰ)」「医学基礎Ⅰ(神経生理学)」「医学基礎Ⅰ(解剖学)」あるいは「医学基礎Ⅰ(基礎人類遺伝学)」のいずれか履修すること。

※既修得単位の認定：本専攻では上記コア領域科目の受講を推奨しているが、他大学院における取得単位について、コア領域1～6に相当する科目を対象に最大8単位以内を既修得単位として認定する場合がある。認定を希望する場合は、入学時に申請が必要である。

令和7年度 社会健康医学系専攻 専門職学位課程 MPH コース授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア 必修	H118000	領域1 疫学Ⅰ (疫学入門)	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域1 疫学Ⅱ (研究デザイン)	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域2 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア 選択 必修	H070000	領域3 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域3 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H126000	領域4 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H166000	領域4 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H109000	領域4 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
	H127000	領域4 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の 運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域5 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域5 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H075000	領域5 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H157000	領域5 社会疫学	前期	近藤	2	基礎	
	H173M01	領域6 レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域6 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域6 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域6 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域6 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
MPH 必修	H007000	医学基礎Ⅱ	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の 出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ (基礎人類遺伝学)	前期	小川	2	基礎	「医療系」以外の 出身者のみ、4科目の うちいずれか1科目必修。
	H154000	医学基礎Ⅰ (生理学Ⅰ)	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ (神経生理学)	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ (解剖学)	前期前半	近藤	2	基礎	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	M022M01	ゲノム科学と医療	後期すべて	松田	2	応用	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更

H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
H130000	健康情報学 I	後期すべて	中山	2	中級	
H151000	健康情報学 II	後期すべて	高橋	2	中級	
H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
H182000	産業保健と労働関連法	前期すべて	阪上	2	中級	2025 年度新規開講
M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の 指導教員等	1 また は 2	—	
H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	

H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
H129000	医療の質評価	-	-	1	中級	2025年度は開講せず
S004000	統計遺伝学Ⅰ	-	-	2	中級	開講未定
S005000	統計遺伝学Ⅱ	-	-	2	中級	開講未定
H063000	フィールドワーク	-	-	2	中級	2025年度は開講せず

[レベル] 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2023年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション：展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「ゲノム科学と医療（科目コード：M022000）」の単位を取得した学生は、「ゲノム科学と医療（科目コード：M022M01）」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表3) 科目変更対応表」を確認すること

◇専門職学位課程特別コース及び特別プログラムについて

<特別コース>

I. 臨床研究者養成（MCR）コース

(<https://mcr.med.kyoto-u.ac.jp/>)

(1) 学習達成目標

- ① 臨床研究を支える種々の基本理論、知識、実践技術に習熟すること。
- ② 自分の臨床上の疑問に基づいた臨床研究を計画し、研究プロトコルの作成、研究の実施・マネジメント、得られたデータの基本的な解析処理、結果の解釈、論文にまとめる、などの一連の作業を独力でできる。
- ③ 自分の臨床研究の計画・実施・解析・解釈の過程で生じる疑問について、適切な時期に、適切な専門家に、適切な相談・照会ができる。

(2) 本コースのカリキュラムの特徴

- ① 集中的な授業・実習
本コースでは、臨床研究の基本（理論、知識、方法、実践）を1年間で体系的に学習できるよう全体のカリキュラムが構成されている。加えて、本コース推奨科目以外にも社会健康医学系専攻が提供する殆ど全ての科目を履修することができる。なお、学生が入学前に取得した科目があり、既修得単位として認められれば履修が免除される。
- ② 個別指導（メンタリング）の重視
本コースの学生には、入学時に1～2名の個別指導担当教員（メンター）を決定し、この担当教員が責任を持って担当学生の研究プロトコルの作成やデータの解析の指導、および実際の研究計画実施上の指導を行なう。研究の種類にもよるが、必要に応じて2名が指導教員となることもある。この個別指導は、本コース在学期間のみでなく、双方の合意のもとに、修了後も、研究実施、結果解析、論文作成まで継続的に行うことを念頭につくられている。指導教員の決定にあたっては、学生本人と本コース教員の間で協議を行ない決定する。
- ③ 修了時の課題研究発表と試問
本コース修了時に、全ての学生は、自分の臨床上の疑問に基づく臨床研究を完成させ（研究プロトコルも認める）、発表会で試問を受け、合格する必要がある。
なお専門職大学院のため、修士論文などは課さない。

(3) 修了要件

科目	単位数
MPH コア6領域（コア領域1－6のすべての領域を含む8単位以上*）およびMCR必修科目	15
選択科目	11
課題研究	4
計	30

*詳細は、「MCR コース授業科目一覧表」を参照。

（注）MPH コア科目を8単位を超えて取得した場合は、選択科目として算入する。

照会先：臨床情報疫学分野および各担当分野

令和7年度 社会健康医学系専攻 臨床研究者養成 (MCR) コース 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア 必修	H118000	領域1 疫学Ⅰ (疫学入門)	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域1 疫学Ⅱ (研究デザイン)	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域2 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア 選択 必修	H070000	領域3 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域3 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H166000	領域4 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H127000	領域4 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域5 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域5 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H157000	領域5 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域5 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H173M01	領域6 レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域6 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域6 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域6 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域6 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
必修	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
MCR 限定 必修	K030000	医療技術の経済評価	前期前半	今中	1	応用	
	K026000	臨床研究計画法Ⅰ	前期すべて	川上	1	応用	
	K027000	臨床研究計画法Ⅱ	後期すべて	川上	1	応用	
	K028000	臨床研究計画法演習Ⅰ	前期すべて	山本	1	応用	
	K029000	臨床研究計画法演習Ⅱ	後期すべて	山本	1	応用	
推奨 選択	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H109000	領域4 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
MCR 限定 選択	K020000	EBM・診療ガイドライン特論	後期すべて	中山	1	応用	
	K033000	データ解析法特論	前期後半	山本	1	中級	
	H146000	メタアナリシス	前期集中	田中	1	応用	

	K035000	社会疫学研究法	前期後半	近藤	1	応用	
	K036000	系統的レビュー	後期すべて	小川	1	応用	
	K025000	臨床研究データ管理学	後期前半	中尾葉子	1	応用	
	K034000	臨床研究特論	後期すべて	石見	2	応用	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講
	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	

H182000	産業保健と労働関連法	前期すべて	阪上	2	中級	2025年度新規開講
M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1または2	—	
H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	
H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
H129000	医療の質評価	—	—	1	中級	2025年度は開講せず
S004000	統計遺伝学Ⅰ	—	—	2	中級	開講未定
S005000	統計遺伝学Ⅱ	—	—	2	中級	開講未定
H063000	フィールドワーク	—	—	2	中級	2025年度は開講せず

[レベル] 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

MCR 限定科目は、MCR 専科生および受講生のみ受講可能である。聴講は不可。
推奨選択は必修・選択の区分に関わらずコースとして推奨される科目。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表3) 科目変更対応表」を確認すること

II. 遺伝カウンセラーコース

(<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/class-06.html>)

(1) 遺伝カウンセラーコースの概要

ゲノム・遺伝情報を利用した医療、遺伝薬理学情報に基づいたテーラーメイド医療に対応できる高度な専門的知識と技術ならびにコミュニケーション能力をもち、患者・家族の立場を理解して新医療とのインターフェースとなりうる人材を総合的に養成する。

(2) 遺伝カウンセラーコースの特徴

- ① 充実したスタッフ：この分野でトップレベルの多数の指導者が社会健康医学系専攻の教員とともに充実した専門教育を行う。
- ② 社会健康医学の幅広い素養：社会健康医学コア科目を履修する。修了時には、社会健康医学修士(専門職)(Master of Public Health; MPH)の学位が授けられる。
- ③ 充実した実習：現場での実習に特に重点を置いており、京都大学医学部附属病院遺伝子診療部などでの充実した実習が可能である。
- ④ 資格認定試験受験資格：遺伝カウンセラーコース：コース終了後、「認定遺伝カウンセラー」資格認定試験受験資格が得られる。

(3) 修了要件

【2024年度以前入学者】

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」 以外出身者
MPH コア 5 領域 (コア領域 1-5 のすべての領域を含むこと)	7	7
医学基礎 I (注1)、医学基礎 II、臨床医学概論	—	6
遺伝カウンセラーコース必修	2 9	2 7
課題研究	4	4
合計	4 0	4 4

【2025年度以降入学者】

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」 以外出身者
MPH コア 6 領域 (コア領域 1-6 のすべての領域を含むこと)	8	8
医学基礎 I (注1)、医学基礎 II、臨床医学概論	—	6
遺伝カウンセラーコース必修	2 1	1 9
課題研究	4	4
合計	3 3	3 7

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者
上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できる
コースの出身者は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) 医学基礎 I として、「医療系以外出身者」は「医学基礎 I (「基礎人類遺伝学」)」を履修すること。

なお、「医療系出身者」は「基礎人類遺伝学」を履修すること。

(参考) 課題研究：

初年度の学習や実習経験に基づいて専門領域の発展にふさわしいテーマを見出し、テーマごとにもっとも適切な教員の指導のもと、遺伝医療および遺伝カウンセリングの臨床現場の質の向上に資するとともに、クライアントのQOLの改善につながるような研究を行い、とりまとめを行う。

照会先: 遺伝医療学分野

令和7年度 社会健康医学系専攻 遺伝カウンセラーコース 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア 必修	H118000	領域1 疫学Ⅰ (疫学入門)	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域1 疫学Ⅱ (研究デザイン)	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域2 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア 選択 必修	H070000	領域3 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域3 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H126000	領域4 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H166000	領域4 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H109000	領域4 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
	H127000	領域4 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の 運営委員会	2	基礎	
	H076000	領域5 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H173M01	領域6 レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域6 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域6 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期その他	今中	1	応用	
	H169000	領域6 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域6 感染症数理モデル入門	前期その他	西浦	2	応用	
MPH 必修	H007000	医学基礎Ⅱ	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ (基礎人類遺伝学)	前期その他	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ、4科目のうちいずれか1科目必修。 (GCコース「医療系」以外出身者は、医学基礎Ⅰ(基礎人類遺伝学)を必修とする)
	H154000	医学基礎Ⅰ (生理学Ⅰ)	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ (神経生理学)	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ (解剖学)	前期前半	近藤	2	基礎	
必修	H040000	基礎人類遺伝学	前期その他	小川	2	基礎	
	N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期その他	小川	2	基礎	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期その他	川崎	2	基礎	
GC 限定 必修	N022000	基礎人類遺伝学演習	後期すべて	小川	1	応用	
	N006000	臨床遺伝学演習 (ロールプレイ演習)	後期その他	川崎	1	応用	
	N009000	遺伝カウンセリング実習1	通年	小川	2	基礎	
	N010000	遺伝カウンセリング実習2	通年	小川	4	応用	
	N007000	遺伝カウンセリング演習1	通年すべて	川崎	2	基礎	
	N008000	遺伝カウンセリング演習2	通年すべて	川崎	2	応用	
	N020000	遺伝カウンセラーコミュニケーション概論	通年	川崎	3	基礎	

推奨 選択	M022M01	ゲノム科学と医療	後期すべて	松田	2	応用	
	N024000	医療倫理学各論	後期その他	井上	2	応用	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
	H077000	領域5 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H157000	領域5 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域5 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期その他	山本	1	中級	
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025年度新規開講
	H130000	健康情報学 I	後期すべて	中山	2	中級	
	H151000	健康情報学 II	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	通年集中	今中	1	応用	2025年度新規開講
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025年度新規開講

M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の 指導教員等	1ま または 2	—	
H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	
H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
H142000	行政医学・産業医学	前期その他	今中	2	応用	
H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
H168000	遺伝サービス情報学	—	—	1	基礎	2025年度は開講せず
H129000	医療の質評価	—	—	1	中級	2025年度は開講せず
S004000	統計遺伝学Ⅰ	—	—	2	中級	開講未定
S005000	統計遺伝学Ⅱ	—	—	2	中級	開講未定
H063000	フィールドワーク	—	—	2	中級	2025年度は開講せず

[レベル] 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

推奨選択は必修・選択の区分に関わらずコースとして推奨される科目。

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2023年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション：展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「ゲノム科学と医療（科目コード：M022000）」の単位を取得した学生は、「ゲノム科学と医療（科目コード：M022M01）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

- 2024年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表3）科目変更対応表」を確認すること

Ⅲ. 臨床統計家育成 (CB) コース

(<http://www.cbc.med.kyoto-u.ac.jp/>)

(1) 学習達成目標

- ① 臨床研究の科学的な質を保つために必要な統計学基礎および臨床統計学を修めること。特に「臨床試験のための統計的原則 (ICH E9 ガイドライン)」について十分に理解すること。
- ② 病院での臨床研究に関する実地研修を通じて、統計解析、データマネジメント等の実務を経験し、臨床統計家に求められる技術に習熟すること。
- ③ 臨床研究の倫理的な質を保つために必要な知識・態度を身に着けること。特に日本計量生物学会作成の「統計家の行動基準」について十分に理解すること。

(2) 本コースのカリキュラムの特徴

本コースは、臨床統計家の人材供給を求める日本の臨床研究現場からの強いニーズにより設置された2年制の専門職学位課程である。コース修了後は、臨床統計家育成コースを修了したことを証明する修了証とともに社会健康医学修士(専門職)が授与される。本コースでは、臨床統計家に必要な知識、技術、態度を2年間で体系的に学習できるよう、臨床統計関連科目だけではなく、医学、疫学、研究倫理などから全体のカリキュラムが構成されている。これに加えて、臨床試験を実施している京都大学医学部附属病院・国立循環器病研究センターと連携し、on the job trainingによる臨床研究に関する実地研修を提供する(1年次・2年次の夏季集中で行う臨床研究実地研修Ⅰ・Ⅱ)。この実務経験を通じて、計画立案、データマネジメント、解析等、臨床統計学の実践的な技術を学ぶことができる。また、本コース推奨科目以外にも社会健康医学系専攻が提供する多くの科目を履修することができる。

(3) 修了要件

【2024 年度以前入学者】

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」 以外出身者
MPH コア 5 領域 (コア領域 1-5 のすべての領域を含むこと)	10	10
医学基礎Ⅰ ^(注1) 、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	—	6
臨床統計家育成コース必修	19	19
課題研究	4	4
合計	33	39

【2025 年度以降入学者】

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」 以外出身者
MPH コア 6 領域 (コア領域 1-6 のすべての領域を含むこと)	10	10
医学基礎Ⅰ ^(注1) 、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	—	6
臨床統計家育成コース必修	19	19
課題研究	4	4
合計	33	39

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) 「医学基礎Ⅰ」として、「医学基礎Ⅰ(生理学Ⅰ)」「医学基礎Ⅰ(神経生理学)」「医学基礎Ⅰ(解剖学)」

あるいは「医学基礎Ⅰ(基礎人類遺伝学)」のいずれか履修すること。

照会先：医療統計学分野および臨床統計学分野

令和7年度 社会健康医学系専攻 臨床統計家育成コース 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア 必修	H118000	領域1 疫学Ⅰ (疫学入門)	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域1 疫学Ⅱ (研究デザイン)	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域2 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア 選択 必修	H070000	領域3 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域3 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H166000	領域4 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H127000	領域4 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策の運営委員会	2	基礎	
	H077000	領域5 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域5 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H157000	領域5 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域5 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H173M01	領域6 レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域6 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域6 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域6 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域6 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
MPH 必修	H007000	医学基礎Ⅱ	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ (基礎人類遺伝学)	前期	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ、4科目のうちいずれか1科目必修
	H154000	医学基礎Ⅰ (生理学Ⅰ)	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ (神経生理学)	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ (解剖学)	前期前半	近藤	2	基礎	
必修	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
	H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級	
	H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用	
	H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級	
	H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
	H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
CB 限定 必修	K025000	臨床研究データ管理学	後期前半	中尾葉子	1	応用	
	H140000	臨床研究実地研修Ⅰ	通年集中	田中	2	応用	
	H147000	臨床研究実地研修Ⅱ	通年集中	田中	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更

	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更	
	H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用		
推奨 選択	H144000	統計的推測の基礎・演習	前期すべて	大森	1	中級		
	H139000	臨床統計家の実務スキル	前期すべて	大森	1	基礎		
	H130000	健康情報学 I	後期すべて	中山	2	中級		
	H151000	健康情報学 II	後期すべて	高橋	2	中級		
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級		
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用		
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級		
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎		
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎		
	H126000	領域 4 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級		
	H109000	領域 4 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級		
	CB 限定 選択	H146000	メタアナリシス	前期集中	田中	1	応用	
選択	H167000	QOL・PRO 評価法	後期	山本	1	中級		
	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎		
	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用		
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級		
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎		
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用		
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎		
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更	
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用		
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級		
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025 年度新規開講	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講	
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用		
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎		
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用		
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎		
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎		
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎		
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎		
	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	通年集中	今中	1	応用	2025 年度新規開講	

H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025年度新規開講
M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	
M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1または2	—	
N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
H129000	医療の質評価	—	—	1	中級	2025年度は開講せず
S004000	統計遺伝学Ⅰ	—	—	2	中級	開講未定
S005000	統計遺伝学Ⅱ	—	—	2	中級	開講未定
H063000	フィールドワーク	—	—	2	中級	2025年度は開講せず

[レベル] 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

推奨選択は必修・選択の区分に関わらずコースとして推奨される科目。

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2023年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション：展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。
- 2024年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「（別表3）科目変更対応表」を確認すること

<特別プログラム>

I. 知的財産経営学プログラム

(1) 知的財産経営学プログラムの概要

大学の研究成果をもとに新規産業を興し経営するには、これまでの日本の企業風土で蓄積された企業文化、経営のノウハウとは異なるものが要求される。その一つが技術経営であり、特に知的財産を最大限に活用する知的財産戦略を担うディレクター（知的財産ディレクター）の仕事である。ここで期待される人材は、複数の異なるベクトルを持つ必要がある。

- ① 自然科学の分野において、医学研究科で先端医学領域の研究を実施している教員や産業界における探索・開発研究の経験が豊富な教員による講義により、トップレベルの科学的な知識とその活用に当たっての社会的受容性の知識を習得してもらう。
- ② 人文・社会健康医学系専攻科学の分野において、知的財産権やその他ビジネスに関する基礎は、各専門分野により選ばれた教員の講義から知識を学ぶと共に、実業界でのキャリアを持つ講師（ベンチャーキャピタル分野）から、企業会計や知的財産の市場評価・流通の実務的なスキルと知識を学ぶ。
- ③ 上記により習得した知識をベースとして、実務経験を通じた知識の深化と、即戦力としての実務能力の養成を行う。具体的には、京都大学医学領域拠点業務との連携やエクスターンシップの実施も含めて、テーマ毎に適切な指導教員のもとで研究者とも連携し、研究成果の権利化と活用の実務を手伝う。実施項目としては、発明の抽出、周辺特許調査、明細書作成、ビジネスプラン作成、契約実務作業等を経験する。これらにより発明の開示から知的財産としての活用までの全体の流れを把握し、出願妥当性の判断に至る経緯の考察や産業界との連携における問題点と解決法に関する考察などのプレゼンテーションまで実際に経験させる。

これらにより専門職大学院として問題解決能力、実践・実務能力を身に付け、生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する高度な専門性を有する人材養成のための教育研究を行う。

(2) 修了要件

本プログラムの修了要件は、2年以上在学し、下記の30単位を修得し、本プログラムが定めるカリキュラムを修了することである。

【2024年度以前入学者】

	「医療系」出身者	「医療系」以外出身者
MPH コア5領域（コア領域1－5のすべての領域を含む）	7	7
MPH 必須	－	6
知的財産領域必修	8	8
課題研究（知的財産経営学）	4	4
選択	11	5
計	30	30

【2025年度以降入学者】

	「医療系」出身者	「医療系」以外出身者
MPH コア6領域（コア領域1－6のすべての領域を含む）	8	8
MPH 必須	－	6
知的財産領域必修	8	8
課題研究（知的財産経営学）	4	4
選択	10	5
計	30	31

照会先：知的財産経営学分野

令和7年度 社会健康医学系専攻 知的財産経営学プログラム 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	開講期間	主担当教員	単位	レベル	備考
コア 必修	H118000	領域1 疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山	1	基礎	
	H119000	領域1 疫学Ⅱ（研究デザイン）	前期前半	山本	1	基礎	
	H174000	領域2 医療データ科学	前期すべて	松井	2	基礎	科目名変更
コア 選択 必修	H070000	領域3 感染症疫学	前期後半	西浦	1	基礎	
	H124000	領域3 産業・環境衛生学	前期前半	西浦	1	基礎	
	H126000	領域4 保健・医療の経済評価	前期前半	今中	1	中級	
	H166000	領域4 医療制度・政策・経済	前期すべて	今中	2	基礎	
	H109000	領域4 医薬政策・行政	後期前半	川上	1	中級	
	H127000	領域4 社会健康医学と健康政策	前期すべて	健康政策 の運営委 員会	2	基礎	
	H077000	領域5 医学コミュニケーション基礎	前期前半	岩隈	1	基礎	
	H076000	領域5 基礎医療倫理学	前期前半	井上	1	基礎	
	H157000	領域5 社会疫学	前期すべて	近藤	2	基礎	
	H075000	領域5 行動科学	前期前半	田近	1	基礎	
	H173M01	領域6 レジリエントな社会づくりのイ ノベーション：展望・自由提言	通年	今中	2	応用	
	H170M01	領域6 健康危機管理の制度政策と実践	通年	今中	1	応用	
	H172000	領域6 健康危機管理・災害医療マネジ メントワークショップ	前期	今中	1	応用	
	H169000	領域6 公衆衛生の緊急事態におけるリ スクコミュニケーション	通年集中	中山	1	応用	
	H161000	領域6 感染症数理モデル入門	前期	西浦	2	応用	
MPH 必修	H007000	医学基礎Ⅱ	後期すべて	近藤	2	基礎	「医療系」以外の出身者のみ 必修。
	H008000	臨床医学概論	後期すべて	近藤	2	基礎	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	前期	小川	2	基礎	「医療系」以外の出身者の み、4科目のうちいずれか1 科目必修
	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）	前期前半	近藤	2	基礎	
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）	後期後半	近藤	2	基礎	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	前期前半	近藤	2	基礎	
必修	M001000	アントレプレナーシップ	前期すべて	寺西	2	基礎	
	M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	前期すべて	早乙女	2	基礎	
	M004000	契約実務演習	後期すべて	鈴木	2	基礎	
	M024000	特許法特論・演習（前期）	前期すべて	高山	2	基礎	
推奨 選択	M021000	アントレプレナーシップ特論	前期集中	早乙女	2	応用	
	M025000	特許法特論・演習（後期）	後期すべて	田中	2	中級	
	M007000	知的財産法演習	後期すべて	當麻	2	中級	

	M017000	知的財産経営学基礎	前期すべて	早乙女	2	基礎	
選択	H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	通年集中	今中	1	応用	2025年度新規開講
	H167000	QOL・PRO評価法	後期	山本	1	中級	
	Z203M01	グローバルヘルス通論	後期すべて	中山	2	中級	
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	前期後半	中山	1	基礎	
	H032000	ベンチトレーニングコース	通年集中	原田	2	応用	
	H176000	データ解析の方法	後期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H020000	人間生態学	後期すべて	坂本	2	基礎	
	H177000	保健活動論	後期前半	近藤	2	応用	科目名変更
	H143000	健康デザイン論	通年集中	中山	1	応用	
	H171000	健康・予防医療学領域の実装科学	後期すべて	石見	2	中級	
	H178M01	健康危機管理セミナー	通年集中	今中	2	応用	2025年度新規開講
	H130000	健康情報学Ⅰ	後期すべて	中山	2	中級	
	H151000	健康情報学Ⅱ	後期すべて	高橋	2	中級	
	H179M01	公共政策と健康危機管理	後期集中	今中	1	応用	2025年度新規開講
	M120000	創薬医学特論	後期	早乙女	1	応用	
	N024000	医療倫理学各論	後期	井上	2	応用	
	H103000	医療社会学・基礎	前期後半	岩隈	1	基礎	
	H175000	医療データ科学実習	前期すべて	松井	2	中級	科目名変更
	H079000	医薬品の開発と評価	後期後半	川上	1	中級	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査	後期すべて	川上	2	応用	
	H040000	基礎人類遺伝学	前期	小川	2	基礎	
	H145000	多重性の考え方	前期前半	松井	1	中級	
	H093000	文献検索法	前期前半	高橋	1	基礎	
	H094000	文献評価法	前期後半	中山	1	基礎	
	H162000	毒性科学	通年集中	原田	2	基礎	
	H180M01	災害時の避難生活支援	通年集中	今中	1	応用	2025年度新規開講
	H152000	環境・感染症論	後期すべて	山崎	2	中級	
	H159000	環境曝露・リスク評価	通年集中	原田	2	中級	
	H137000	生存時間解析	後期集中	大森	1	中級	
	H061000	社会健康医学課外実習	前期集中	所属分野の指導教員等	1または2	—	
H138000	統計モデルとその応用	後期集中	大森	1	中級		
H134000	統計家の行動基準	前期集中	松井	1	応用		
H136000	統計的推測の基礎	前期すべて	大森	2	中級		

H112000	臨床試験	前期すべて	田中	2	中級	
H135000	臨床試験の統計的方法	後期前半	田中	1		
N023000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	前期	小川	2	基礎	
H142000	行政医学・産業医学	前期	今中	2	応用	
H022000	解析計画実習	後期すべて	松井	2	応用	
H160000	質的研究・演習	通年	岩隈	2	中級	
H156000	質的研究入門	前期後半	中山	1	基礎	
N017000	遺伝医学特論（集中講義）	前期集中	川崎	2	応用	
N015000	遺伝医療と倫理・社会	前期	川崎	2	基礎	
M009000	薬理学 ^(医)	(春学期)	寺田	2		
M027000	生化学 ^(医)	(春学期)	竹内	2		
H129000	医療の質評価	-	-	1	中級	2025年度は開講せず
S004000	統計遺伝学Ⅰ	-	-	2	中級	開講未定
S005000	統計遺伝学Ⅱ	-	-	2	中級	開講未定
H063000	フィールドワーク	-	-	2	中級	2025年度は開講せず

[レベル] 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

注1：^(医)は医学部医学科の科目

注2：選択科目にはこの他にも、経済学研究科、法学研究科の関連科目を個別に単位認定する可能性があるため、指導教員に確認すること。

推奨選択は必修・選択の区分に関わらずプログラムとして推奨される科目。

- 医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。
- 2023年度までに「メディカル分野技術経営学概論」の単位を取得した学生は、「医療ビジネス・イノベーション概論」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2023年度までに「ポストコロナ社会のイノベーション：展望と自由提言」の単位を取得した学生は、「レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学」の単位を取得した学生は、「医療データ科学」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「交絡調整の方法」の単位を取得した学生は、「データ解析の方法」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「地域保健活動論」の単位を取得した学生は、「保健活動論」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「医療統計学実習」の単位を取得した学生は、「医療データ科学実習」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。
- 2024年度までに「医療倫理学各論（科目コード：N018000）」の単位を取得した学生は、「医療倫理学各論（科目コード：N024000）」を修得しても修了に必要な単位の算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表3) 科目変更対応表」を確認すること

(別表 1) 課題研究及び博士課程セミナー科目コード

研究分野	科目コード		
	課題研究（専門職学位課程）	[MCR]	博士課程セミナー（博士後期課程）
医療統計学	I001000		J001000
医療疫学	I002000	L002000	J002000
薬剤疫学	I003000	L003000	J003000
ゲノム情報疫学	I004000		J004000
医療経済学	I005000	L005000	J005000
医療倫理学	I006000	L006000	J006000
健康情報学	I007000	L007000	J007000
医学コミュニケーション学	I016000		J016000
環境衛生学	I009000		J009000
健康増進・行動学	I010000	L010000	J010000
予防医療学	I011000	L011000	J011000
社会疫学	I020000		J016000
健康政策・国際保健学	I013000		J013000
環境生態学	I014000		J014000
人間生態学	I015000		J015000
知的財産経営学	M018000		
遺伝医療学（遺伝カウンセラー）	N901000		
臨床統計家育成コース（臨床統計学）	I019000		
健康危機管理システム学	I021000		J018000
健康危機管理情報解析学	I022000		J019000

(別表 2) 社会健康医学・臨床疫学研究（演習・実習）科目コード

科目名	科目コード
社会健康医学・臨床疫学研究（演習）	P033000
社会健康医学・臨床疫学研究（実習）	P034000

(別表 3) 科目変更対応表

科目コード	科目名（新）	科目名（旧）
令和 6 年度開講科目		令和 5 年度以前開講科目
H173M01	レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	ポストコロナ社会のイノベーション：展望と自由提言
M119000	医療ビジネス・イノベーション概論	メディカル分野技術経営学概論
令和 7 年度開講科目		令和 6 年度以前開講科目
H174000	医療データ科学	医療統計学
H176000	データ解析の方法	交絡調整の方法
H177000	保健活動論	地域保健活動論
H175000	医療データ科学実習	医療統計学実習

II. 医療経営ヤングリーダー・プログラム

(1) 医療経営ヤングリーダー・プログラムの概要

医療経営ヤングリーダー・プログラムは、高度専門職である医療経営幹部候補生およびこの領域の将来のリーダーを育成するためのプログラムであり、財務、会計、経営分析、市場分析、組織論・組織行動、組織文化の把握、質保証・業務改善、情報システム、法と倫理、関連ビジネス、政策・制度などについて学び、新たな教材や教育方法の創造にも参加し、経営実力者の人格と出会い、現場に身を置いて演習、調査、ケーススタディ等を行う。

当プログラムは、面接、審査の上、経営の素養と意欲のある人材、各年若干名を対象に開講する。ケーススタディに加えて、プロジェクト形式で、経営実例に直結する調査、分析、支援活動などを進め、情報収集、分析、妥当な計画立案、説得力ある討議、環境適応、変革・創造、行動の力を高めるべく訓練を行う。これらを通じて現実の医療経営に大いに貢献できる人材の基盤作りを行い、医療機関の将来の経営幹部、そして我が国の医療経営界において将来に主導的役割を担いうる人材の養成をめざす。

(2) 医療経営ヤングリーダー・プログラムの修了要件

- ① 社会健康医学系専攻専門職学位課程の修了のための要件を満たすこと
- ② 下記を全て履修すること

科目コード	科目名	単位	時期
H166000	医療制度・政策・経済	2	前期
H126000	保健・医療の経済評価	1	前期前半
H082000	医療経営特別カリキュラムⅠ	2	前期集中
H083000	医療経営特別カリキュラムⅡ	2	後期集中
H053000	医療経営ケーススタディ	2	通年集中
I005000	課題研究（医療経済学分野）	4	—

※前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表)科目変更対応表」を確認すること。

- 社会健康医学系専攻の多くの科目の選択を自ら設計して積極的に履修することを強く推奨する。
 - さらに、経営管理大学院、公共政策大学院、または経済学研究科の科目を履修することを強く推奨する。
 - また、当該分野でのセミナーに積極的に参加することが求められる。
- ③ 課題研究で医療経営に関わる課題に取り組むこと

照会先：医療経済学分野

Ⅲ. 健康危機管理基盤プログラム

(1) 健康危機管理基盤プログラムの概要

近年、様々な災害や感染症蔓延等がより頻繁に生じている中、健康危機管理の人材育成・研究の強化が、世界的に求められるようになってきました。災害多発国である我が国では、なおさらそのニーズが高まっています。また当領域は、実践面では多様なセクターとの協働、研究面では多様な学問分野の協働が求められる領域であり、それらを実現できる人材が求められています。

そこで、様々なバックグラウンドを有し健康危機管理に貢献しようとする意思を持つ者に対し、ヘルスセキュリティセンター（CHS）は、健康危機管理の基盤力の修得を目的として、「健康危機管理基盤プログラム」を設置しています。対象は、社会健康医学系専攻を中心に、京都大学の博士後期課程、専門職学位課程、博士課程、修士課程の大学院生であり、院生の所属部局は問いません。

個々の多様な専門性を活かし健康危機管理の基盤的な専門能力を発揮できる人材を育成するプログラムです。

(2) 健康危機管理基盤プログラムの修了要件

当プログラムを修了するためには下記の中から、5科目以上（かつ7単位以上）の履修が必要です。健康危機管理セミナーは必修とし、当該セミナーの年度終盤の最終レポートとその発表をもとに、ヘルスセキュリティセンター運営委員会で可否を判断し、当プログラムの修了認定審査が行われます。この合格と在籍している学位（修士、専門職学位、博士、博士後期）課程の修了とを要件として修了証を授与します。

科目コード	科目名	担当	単位	備考
【研究能力の獲得】				
H178M01	健康危機管理セミナー	CHS 運営委*	2	通年集中（メディア） 必修
H161000	感染症数理モデル入門	西浦	2	集中講義
【総合知の涵養】				
H170M01	健康危機管理の制度政策と実践	今中／西浦	1	通年（メディア）
H169000	公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	中山	1	集中講義
H173M01	レジリエントな社会づくりのイノベーション：展望・自由提言	今中／近藤／長尾／西浦	2	通年（メディア）
【実践知の涵養】				
H172000	健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ	今中/厚労省 DMAT 事務局メンバー	1	集中講義
H179M01	公共政策と健康危機管理	CHS 教員**	1	後期集中（メディア）
H180M01	災害時の避難生活支援	今中	1	通年集中（メディア）
H181M01	災害時の保健医療福祉における情報管理・活用	久保	1	通年集中（メディア）

* CHS 運営委：ヘルスセキュリティセンター運営委員会

** CHS 教員：ヘルスセキュリティセンター教員

【付記】

・すでに実践や研修等の経験のある場合は、その内容に応じた科目の履修を免除しますので、CHS 運営委員会まで免除申請を行ってください。

・当プログラム登録者のうち希望者は、ヘルスセキュリティセンター運営委員会の附議を経て、厚生労働省 DMAT 事務局にて CMTP(災害等危機管理専門家養成コース:厚生労働省局長による修了証あり)での専門実務訓練を大学院に在籍しながら受けることができます(通常2年間のところ1年間で修了可)。

【参加希望登録について】

当プログラムの参加希望者は、下記の登録申請書をダウンロードして記入し、ヘルスセキュリティセンター事務局に送ってください。

https://www.chs.med.kyoto-u.ac.jp/training/kiban_prg/kiban_prg.docx

【照会先】ヘルスセキュリティセンター事務局 chs@umin.ac.jp

IV. 医療技術評価（HTA）教育プログラム

（1） 医療技術評価（HTA）教育プログラムの概要

医療技術評価（HTA）教育プログラムは、医療資源の公平・効率的な配分のための意思決定支援を目的とした医療技術評価分野の専門人材を育成するためのプログラムである。本プログラムでは、社会健康医学専攻の各科目、および立命館大学の提供科目を受講することにより、医療の費用対効果評価に関する体系的な知識の習得を目指す。また、中央社会医療保険協議会（中医協）の費用対効果評価制度における公的分析業務に実際に参加し、医薬品・医療機器の費用対効果評価の分析結果のレビュー・再分析を行う。これにより、実践的な専門知識・技能を習得し、医療技術評価の分野で活躍できる人材の育成を目指す。

（2） 医療技術評価（HTA）教育プログラムの参加要件

- ① 社会健康医学系専攻の博士後期課程または医学専攻の博士課程に在籍していること
- ② 利益相反にかかる受講資格の有無につき、本プログラム運営委員会での審査・承認をうけること（費用対効果評価の対象となりうる品目に対して利益相反のある者は、原則として本プログラムの受講は認められない）
- ③ 社会健康医学系専攻の MPH コア 6 領域（コア領域 1－6 のすべての領域を含む。領域 1 と領域 2 は、それぞれ 2 単位）の単位を取得済みであること

（3） 医療技術評価（HTA）教育プログラムの修了要件

下記の立命館大学の提供科目を含む 6 単位を履修すること。

科目コード	科目名	単位	時期
-	費用対効果評価演習 I	1	前期
-	費用対効果評価特論 I	1	後期
-	費用対効果評価演習 II	1	前期*
-	費用対効果評価特論 II	1	後期*
H167000	QOL・PRO 評価法	1	後期
H126000	保健・医療の経済評価	1	前期前半

*なお、費用対効果評価演習 II および費用対効果評価特論 II は 2025 年度不開講

- 本プログラム修了後も、公的分析業務の中心メンバーとして参加することを推奨する。
- 本プログラムが提供するセミナーや関連する勉強会等に積極的に参加することが求められる。

照会先：医療疫学分野